

森美術館で 現代美術を キュレーションする

森美術館のキュレーターである近藤健一氏に、
キュレーターとしての活動やキュレーションに
ついて講演していただきます。
そしてその後、アートと資本、政治、社会経済
などをテーマに学生を交えて討論する予定です。
お気軽にご参加ください。

場所：神戸大学国際文化
中会議室（A403）

日時：6月27日
15:10～16:40

主催：国際文化学研究推進センター研究プロジェクト
「ポストBrexitの文化状況」（代表 小笠原博毅）
どなたでも参加いただけますが、資料・会場の準備のため、あらかじめ下記連絡先に
申し込みをお願いします。
連絡先：神戸大学 国際文化学研究科 小笠原博毅 hirokio@kobe-u.ac.jp

講演者略歴
近藤健一（森美術館キュレーター）
1969年生まれ。ロンドン大学ゴール
ドスミス校美術史学科修士課程修
了。2003年より森美術館勤務。森
美術館での企画・共同企画に「英国
美術の現在史：ターナー賞の歩み
展」（2008）、「アラブ・エクス
プレス展」（2012）、「アン
ディ・ウォーホル展」（2014）
、ビル・ヴィオラやゴードン・マッタ
ークラークの映像作品上映
（2015）などを企画。映像作品と
社会言及型の作品を含める展覧会企
画を中心に行う。2014—15年には、
ベルリン、ハンブルガー・バーンホ
フ現代美術館で客員研究員を務める。
近年の寄稿に「不可視の資本を可視
化する—アイザック・ジュリアンの
近年の三連作について」（『年報カ
ルチュラル・スタディーズ vol.4 特
集〈資本〉』、2016、航思社、小
笠原博毅との共著）、
『Contemporary Art and Visual
Culture in Global Asia: Defining
the Field - A Critical and
Theoretical Anthology』（2017末
刊行予定、IB Tauris Press,
London）がある。